

# 中長期的観点に立った防災・減災、国土強靱化の推進

## ■北海道における課題

北海道では、平成28年台風や平成30年胆振東部地震をはじめ、近年、自然災害が頻発・激甚化している。

また、気候変動等により降雨増加率が高いと予測されているほか、今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率も上昇しているなど、災害リスクが高まっている。

▼今世紀末時点での降雨量の変化倍率（2℃上昇※ケース）

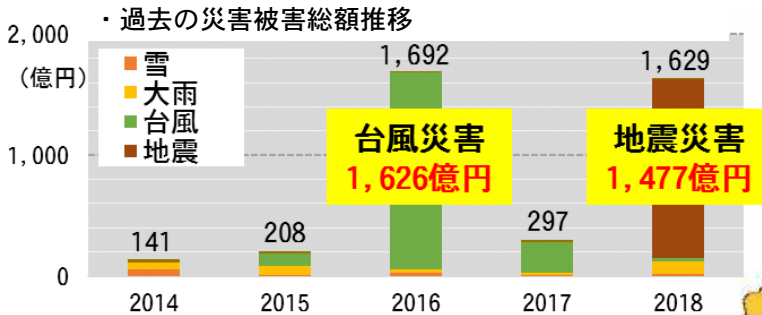
北海道北部、北海道南部、九州北西部	1.15
その他12地域	1.1

（暫定値）

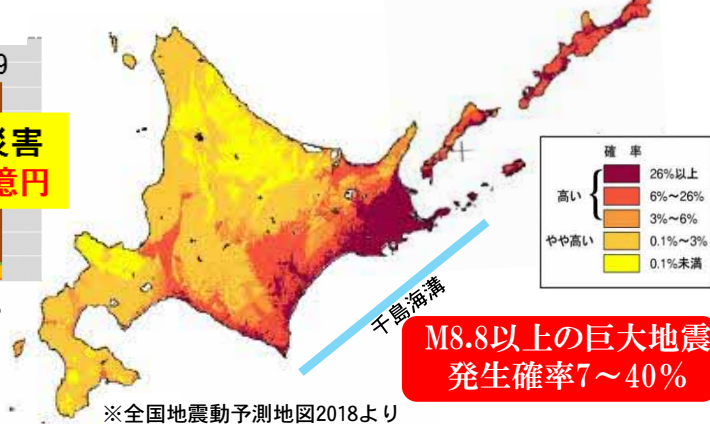


※パリ協定（気候変動に関する国際的枠組み）における将来の気温上昇を2℃以下に抑えるという目標を前提とした場合の算定結果

▼災害による被害額は過去5年間で約4,000億円



▼今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



## ■強靱化の取組を加速する必要性

### ① 3か年緊急対策の取り組み

河道掘削や道路法面のほか、避難に資する簡易型河川監視カメラを設置するなど特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策を推進。

### ② 今後の取組の必要性

#### ●河川（改修）の例

要対策区間 約7,800km  
河川整備計画における優先整備区間 約1,000km

近年被害や市街地など水害リスクの高い区間 130km

3か年緊急対策（うちR2）整備区間 15km

130km整備完了を達成するためには

約2,000億円必要 (R2~R6)  
(R2当初予算規模の1.2倍)

#### ●道路（落石・岩盤崩壊）の例

防災点検箇所 約3,800箇所  
うちランクI（要対策）約530箇所

うち早急に対策が必要な箇所 240箇所

R元まで完了 40箇所

240箇所完了を達成するためには

約220億円必要 (R2~R9)  
(R2当初予算規模の1.7倍)



# 重点要望事項

## 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮

### 自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服

#### 主な要望箇所

#### ●自然災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備

##### ・総合的な治水・利水対策の推進

【石狩川（札幌市など）、十勝川（帯広市など）、天塩川（天塩町など）、沙流川総合開発事業（平取町）、幾春別川総合開発事業（三笠市）、雨竜川ダム再生事業（幌加内町）、佐幌ダム再生事業（新得町）、利根別川（岩見沢市）、堀株川（共和町）、チマイベツ川（伊達市など）、真沼津川（新ひだか町）、ペーパン川（旭川市）、イブンベウシ川（鷹栖町）、古丹別川（苫前町）、無加川（北見市）、利別川（足寄町など）、釧路川（釧路町など）、標津川（中標津町）など】

##### ・海岸の高潮・侵食・津波対策施設などの整備

【度杭崎海岸（森町）、海岸町海岸（羅臼町）、大津海岸（豊頃町）、大舟海岸（函館市）、虎杖浜海岸（白老町）、標津海岸（標津町）、胆振海岸（白老町）、霧多布海岸（浜中町）、野付崎海岸（標津町・別海町）など】

##### ・病院、老人ホーム、幼稚園などの要配慮者利用施設を守る土砂災害対策の推進

【札幌南10条西23丁目地区（札幌市）、太田の沢川（蘭越町）、真栄川（札幌市）、旭1号の沢川（芦別市）、豊里第三地区（赤平市）など】

##### ・市街地を流れる河川の浸水対策の推進

【望月寒川（札幌市）、湯の川（函館市）、クサンル川（稚内市）、伏古別川（帯広市）など】

##### ・粘り強い構造の堤防の整備推進～堤防天端舗装

【比布川（比布町）、厚沢部川（厚沢部町）など】

##### ・火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備

【樽前山（苫小牧市）、十勝岳（美瑛町、上富良野町）、日高幌内川（厚真町）、北海道駒ヶ岳（森町）、ペケレベツ川（清水町）、飛生川（白老町）、気門別川（伊達市）など】

##### ・火山噴火緊急減災対策砂防の推進

【有珠山（洞爺湖町など）、北海道駒ヶ岳（森町など）など】

#### 【近年の洪水被害状況】

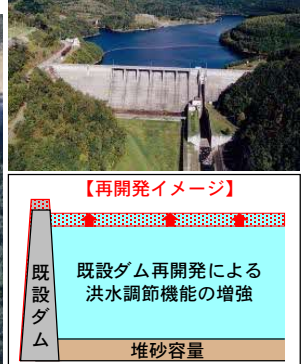
▼一級河川ペーパン川（旭川市）（2018.7）



▼一級河川佐幌川（新得町）（2016.8）



▼佐幌ダム（現況）



#### 【近年の土砂災害状況】

▼気門別川（伊達市）（2017.9）



▼ペケレベツ川（清水町）（2016.8）



#### 【海岸保全施設の整備推進】





主な要望箇所

●自然災害などによる被害を軽減する危機管理体制の充実と地域防災力の向上

- ・大規模氾濫減災協議会の推進 【道内全域】
- ・洪水時の水位監視の充実 【道内全域】
- ・活発化する火山活動に備えた対策の推進 【十勝岳など】

●災害に備えた安全な道路交通環境の整備

- ・避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策などの整備  
【国道227号渡島中山防災（北斗市・厚沢部町）、国道239号霧立防災（苫前町）、国道236号野塚防災（広尾町）、国道274号清瀬防災（日高町）、国道335号標津防災（標津町）、奥尻島線（奥尻町）、泊共和線（泊村・共和町）、滝之町伊達線（伊達市・壮瞥町）、網走公園線（網走市）、大岸礼文停車場線（豊浦町）、上向別浦河停車場線（浦河町）、吹上通（上富良野町）など】

●災害に強いまちづくり

- ・耐震診断や耐震改修に係る財政支援の拡充など、住宅や建築物の耐震化の促進 【岩見沢市庁舎（岩見沢市）など】
- ・災害時の避難、防災活動に寄与する公園等の整備 【東光スポーツ公園（旭川市）など】
- ・浸水被害から都市機能を守るための下水道の整備 【旭川市、帯広市、苫小牧市など】
- ・都市災害を防止するための無電柱化の推進 【稚内天塩線（稚内市）など】

●地域の安心・安全を担う建設産業の担い手確保と育成

- ・災害時における緊急対応など地域の安全・安心を担う建設産業が持続的に発展するため、安定的な建設投資を確保や若年層の担い手確保・育成が必要であることから、技術・技能の継承のための国による関係支援事業を継続するとともに、中長期的な視点に立った施策の推進や予算の確保を図ること

【大規模氾濫減災協議会の推進】

▼協議会の様子



【危険箇所の防災対策】

▼大岸礼文停車場線（豊浦町）



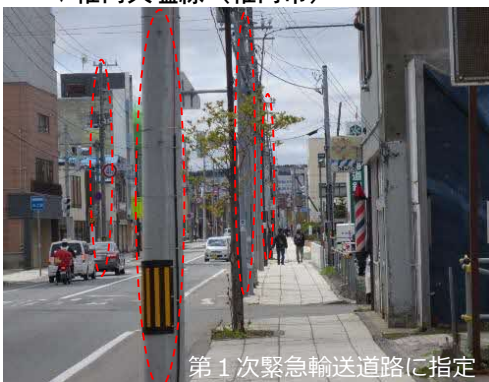
【住宅や建築物の耐震化の促進】

▼免震装置の設置

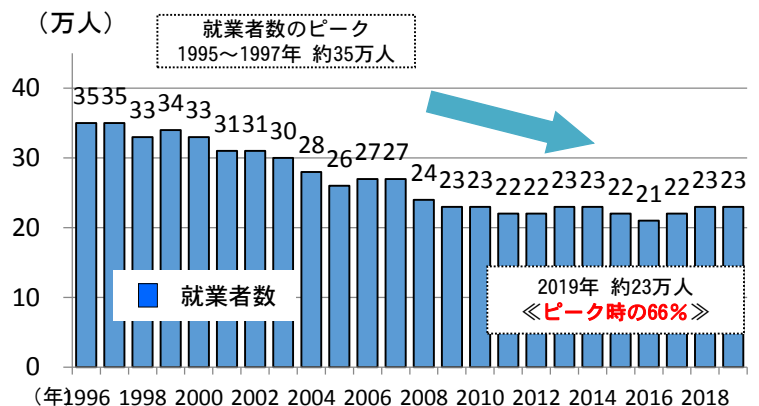


【都市災害を防止するための無電柱化】

▼稚内天塩線（稚内市）



【道内建設業における就業者数の推移】



# 社会資本の戦略的な維持管理・更新、耐震化

## 主要要望箇所

### ●社会資本の老朽化対策、長寿命化の取組や既存ストックの有効活用

#### ・公共施設の老朽化、長寿命化の取組や既存社会資本の有効活用

【平成大橋（旭川市）、妹背牛橋（妹背牛町）、新川（札幌市）、剣淵川（士別市など）、有明ダム（初山別村）、野幌総合運動公園（江別市）、石狩川流域下水道（滝川市ほか）、下水道施設（函館市、小樽市ほか）、日吉町A団地（函館市）、若葉団地（士幌町）、標津海岸（標津町）、山越海岸（八雲町）など】

### ●社会資本や住宅・建築物等の耐震化

#### ・道路施設や住宅・建築物などの耐震化の推進

【当丸橋（余市町）、朝里大橋（小樽市）、祥栄橋（芽室町）、十勝川流域下水道（帯広市ほか）、下水道施設（苫小牧市）など】

## 【構造物の劣化状況】

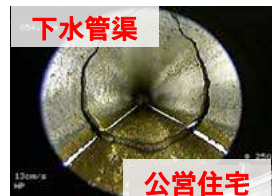
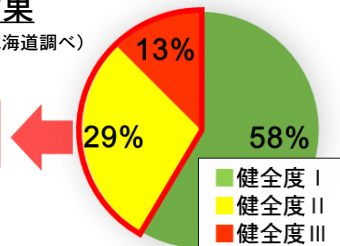


### ●道道における橋梁点検結果

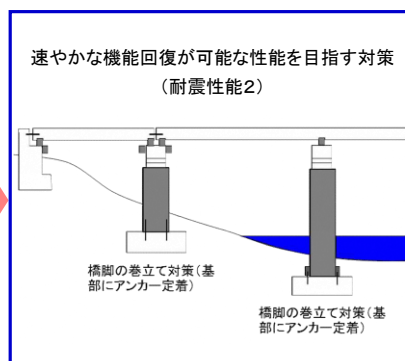
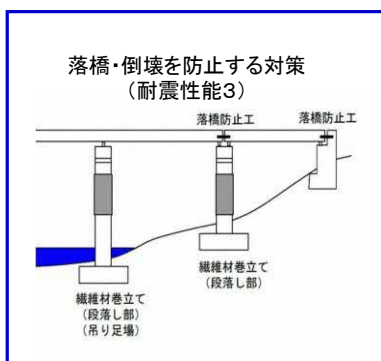
(2014～2018)

(北海道調べ)

補修が必要な橋梁  
2,347橋



## 【橋梁の耐震化】

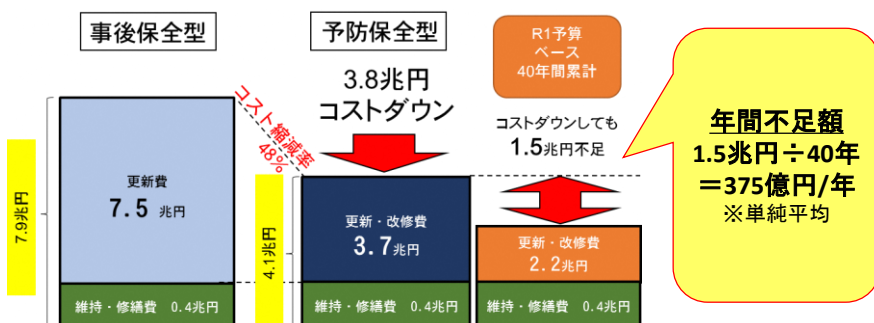


耐震補強



### ●トータルコスト縮減額

※道が管理する施設の維持管理・更新等に係る経費の見込み額（今後40年間の推計）



※北海道インフラ長寿命化計画（行動計画）（H31.3改定）より

## 【点検実施状況】

